夕刊

七月一日

發行兼編輯人 伊藤 睦次
印刷人
福島縣平南町五丸
發行所 常磐新聞社
日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ヶ月 五十錢
廣告料 一行 五十錢

本社 小名濱町古港一
◆支局所在地◆
平町材木町二〇
四倉町停車場通
湯本町新校舎前
植田町金畑五

常磐時評

小名濱紋章と選者に對する希望

小名濱町が過般來一般より懸賞募集を行つた紋章圖案は懸賞金の多寡は兎も角吾等が小名町の永久に殘る紋章を自己の頭によつての熱意に燃ゆる人々により白熱的人氣の裡に應募作品百五十余通を得て昨卅一日を以て締切に至つたことは愛町心發露の一端として同樣慶福に堪へないところである然しながらこの熱誠に應へ且又小名濱町紋章として對内的にも對外的にも齊しく表現價値を發揮するのは今後の選衡如何にかゝる問題で選者の責任や重大ではあるまいか、仄聞するに町當局の意嚮としては目下滯在中の某專門家に選拔を依頼するとのことで吾人は敢てその方針に對して不滿を感するものではなく寧ろ私的關係の比較的少い而も信頼に足る選者を得たことは最も欣びとするところであるが紋章そのものに對する性質より推して一般町民諸君並に應募者諸君の選者に對する共通的希望を左に記してみる、一片の參考ともなれば幸ひである。

一、小名濱町を表徵すべき意義を有すること

都市紋章は町民を首肯せしむるに足る意義又は表徵を持たねばならない、然しながら意義に走り難解にして説明に多言を要するものは避くべきと思ふ。

二、簡單明瞭なること

都市紋章は町旗、その他の旗、或は賞狀其他の用紙等使用する範圍は相當廣い故一見にして見分け難く近寄つて見分けねばならぬ如き複雜なものであつてはならぬ。

三、形態高尚優美なること

都市の章は形狀シンメトリ（均整）のとれたる形態なることを基礎として絶對に無理あつてはいけない、自然に描かれた安定を得たる圖案にあらざれば不快にしてその都市の基礎不安定を聯想せしむるものであればなり

天然の風光に人工の粹を加へて

富ケ浦公園の大樂園地位計畫

布川技師設計計畫

小名濱町では同町富ケ浦公園が大平洋に接した天然の風光と清新な空氣に惠まれ乍ら比較的町民の利用が尠いのを遺憾としてゐたが今回縣下一を誇る忠魂碑建立を機會に躍進小名濱町に相應しい海の大公園を建設すべく過般來帝都一流の庭園技師農學士布川秀華氏にその設計を依頼中であつたが、實地視察の必要から同氏は來る三日來小約一ヶ月間滯在の豫定で種々實測することゝなつたが、目下の設計によると新公園は現在の富ケ浦公園を擴張し純日本式に洋式も取入れ更に遊園地、花壇、瀧、巖窟等の風致も採つたもので實現の曉は縣下一を誇る大公園となる筈で一般の期待されて居る

小名濱町に交付指令があつたが本郡關係は左の二村で價格は十一圓八錢で前回價格より幾分高價になつてゐる

上遠野村　一五〇俵
川村　三〇〇俵

記錄破りの鰹大漁

一航海で二萬五千尾

清勝丸意氣揚々と入港

鰹漁最盛季に入り必死の活躍を續けてゐる本縣下鰹船から意增大される譯で注目されてゐる

中江名町佐藤助五郎氏所有の清勝丸は昨三十日金華山沖二百浬の洋上で鰹二萬五千尾を漁獲し小名濱港へ入港したが一航海二萬五千の漁獲は本年度の記錄破りである

完成は漁業外各方面にもたらす益增大される譯で注目されてゐる

校舍增築協議會

飯野村では今一日午後一時から同村役場で小學校舍增築に關する村議、學務委員等の協議會が行はれる

農林省水産局助成金

久之濱港に下附さる

農林省水産局では全國より多數陳情申請あつた船溜及灣港設備に關し種々調査を進めこれが助成金下附は協議の結果双葉郡内に於ては久の濱港と去る卅日決定下附の通牒に接したので漁民は言ふに及ばずこれが設備完成は漁業外各方面にもたらす益增大される譯で注目されてゐる

郡下の二村へ政府米拂下

昨年より幾分高い

第三次本縣拂下げ政府米は三十日農林省より本縣下十

躍進する小名濱に氣象觀測所設置

近く關係官現地調査

躍進途上の小名濱港にちかく大規模の氣象觀測所が設立される模樣である、文部省では東京、札幌間の新定期航空路の開設に伴ひその沿線の氣象觀測の必要上東日本縱斷の氣象觀測所を設置することに決定し服部會計課長の手元で同案審理中であつたが小名濱が共の設置豫定地となり五日の豫算（茨道部）佐々木良四郎、（劍道部）の四氏が授與された

出張現地調査を行ふことになつた

皆勤賞

平署の土用稽古

平警察署では昨卅一日を以て土曜稽古終了し中島久衛（以上）氏の祖父金藏時代に庭前にあつた魚を洗滌する大桶の爲めに誤つて遊戯中の現町長嚴父の二女（七つ）が

小名濱農會の農事視察

神奈川縣方面へ

小名濱實業學校では毎年第三學年生徒を五班に分けて生後四十日の豚を約八ヶ月に亘つて養豚を行つてゐたが此程賣却の結果相當利益を見たので豚舍の施設改良費其他に充てることゝなつた、因に昨年は平均廿一貫であつたが今年は平均廿四貫の好成績で相場は十割であつたと

交換嬢短期養成

平郵便局では今一日から向ふ一ヶ月管内三等局の電話交換見習四名を招集して短期養成を行ふことになつた

青山内務技監が築港工事視察

◇……出石總務部長も來郡

青山内務技監は明二日午後一時三十分泉驛着列車で來ゐる、尚宿舍は同校講堂に休暇を利用し湯本、勿來、植田、の各小學校に於ける歡迎の準備に萬全を期して小、小名濱商港築港工事視察の上湯本一泊三日朝仙臺方面へ向ふ筈、尚出石本縣總務部長は今一日鮟川疎水工事視察を行ひ同日歸小した。

東京保善舍中學

久之濱海岸に林間學校

十日間の豫定で

夏は海へ!!海濱へ!!と東京某財閥經營に依る保善舍中學校の生徒百余名は主席教諭に引率されて久之濱海岸に今一日午前五時來濱十日間の豫定で同海岸に林間學校を開設したが久之濱小學校のラヂオ体操の會に毎朝參加する、町當局に於ては

平町防護委員會

平町防護委員會は明二日午前八時から會議室に招集され防護團細則の協議を行ふ

八坂神社祭典

小名濱町字下明神町鎮座八坂神社

の祭典は明二日執行されるが例年の神輿渡御及びレコードコンサート其他の餘興がある筈

水着の豪華版四倉海岸人の波現出

押掛けた浴客五千余

水銀柱の上昇と暑中休暇と合まつて人々は浪をつくつて海岸へ!海濱へと泳ぎ出動』等の罹しものがあるとして來た、それは今一日のため非常な賑ひを呈することで出は近來になく晴天にめぐまれ無量五千餘を算したが此も今夕の波立藥師の例祭に依るもの多分にあるであらうが海岸は時ならぬ蒙華版を展發したし明二日の日曜日には町當局後援で海水浴場賣店組合主催で、海岸に於て『寶探し』『陸上運動』等の催しものがあるため非常に慌しくなつたと豫想されてゐる

四倉入港

久之濱

四倉海岸人の波現出

四倉入港

久之濱

四倉海岸人の波現出

從業員慰安

四ツ倉へ！

人山炭礦の現業員四百名と品川白煉瓦湯本工場の從業員三百余名は明二日慰安海水浴に四倉海岸へ臨時列車を仕立て午前九時來町する中に睡眠劑を嚥下し苦悶し（假名）と戀中であり許婚の今を去ること四十餘年前—立花氏の祖父金藏時代に庭前にあつた魚を洗滌する大桶の爲めに誤つて遊戯中の現町長嚴父の二女（七つ）が

失戀の果てに日大生毒藥嚥下

好間村山林地内で

好間村字仲好間日大生菊地某は昨三十一日朝同村山林で、同村志賀義秋の娘清子（假名）と戀中であり許婚の今を去ること四十餘年前—立花氏の祖父金藏時代に庭前にあつた魚を洗滌する大桶の爲めに誤つて遊戯中の現町長嚴父の二女（七つ）が

養豚實習成績良好

小名濱實業校の試み

小名濱實業校の試みが主なる見學個所左の如しである

平町（八月三日—五日）四倉町（六日—八日）田町（七日—十一日）大浦村（九日）草野村（十日—十一日）錦村（十二日—十三日）神谷村（十四日—十五日）夏井村（十六日—十七日）平窪村（十八日—廿日）勿來町（十六日—廿日）好間村（廿一日—廿三日）山田村（廿一日）内川部村（廿一日）（二十二日—廿三日）鄕村（二十四日—二十七日）渡邊村（二十四日—廿五日）泉村（二十六日—二十九日）高久村（二十八日—二十九日）豐間村（廿日—廿一日）磐崎村（廿日—九月二日）江名町（九月一日—三日）湯本町（三日—七日）小名濱町（四日—七日）玉川村（八日—九日）上遠野村（八日—十日）鹿島村（十日）

本郡下の豚丹毒豫防注射は左記日割によつて施行される

豚肉毒豫防注射

石城郡下の日割決定

小名濱町農業技術員武菊治、同農會總代小野元造、高木常吉、小野長松の四氏は來

變つた自首

氣狂ひ男平署へ

石城郡夏井村大字菅波農鈴木文雄氏弟定治（二八）は三十日午後三時頃平署に『大變な惡事を働きましたすぐ取

四倉地方を荒す窃盜常習犯

新舞子で檢擧さる

双葉郡龍田村大字下繁岡生れ住所不定無職重之助三男鈴木德男（二〇）は昨卅一日午前十時頃新舞子ヶ濱を徘徊中四倉署員に檢擧され取調べを受けて居るが、同人は

組合せ決定

磐中對山形中

磐中軍は昨卅一日抽籤の結果地元軍山形中學と對戰する事になつた

街の噂

八島屋當主立花雄七氏と現町長小野晋平氏との親交には感激的エピソードがある今を去ること四十餘年前—立花氏の祖父金藏時代に庭前にあつた魚を洗滌する大桶の爲めに誤つて遊戯中の現町長嚴父の二女（七つ）が

シネマ

◆磐城座（美人人魚發票第一日）海江田譲二、佐久間妙子、近衛敏明共演『双龍、殺劍』靜田二三夫大塚田鶴子主演『浮かれ三人道中記』隼秀人主演『鮮血の掟』大都映畫『潮に捨てた青春』

濱だより

七月卅一日

小名濱魚市場調査

魚名	魚種	高	單	價
かつを	三八〇本	三〇—	五〇	
はも	三〇〇貫		四五	
あいなめ	三〇貫		六〇	
かじき	三本	八〇—	五〇	
めかちき	八本	三〇—	四〇	

◇天氣豫報◇

今晩　北風曇時々晴レ
明日　南風曇リ
平均溫度　二三度三分

◇小名濱干滿時間◇

（二一日）
滿潮（前一二・三〇　後一二・五〇）干潮（前一〇・一五　後一〇・五〇）
（二二日）
滿潮（前一三・〇〇　後一三・一〇）干潮（前一〇・四五　後一〇・四五）

平野菜市場況

（七月廿九日）

品名	數量	高値	安値
キユリ	百個	一一〇	七〇
ナス	百個	二七	三〇
南瓜赤	貫	一二	一〇
青	貫	七	四
玉葉	貫	七	四
玉葱	貫	一九	
馬鈴薯	貫	一七	一三
山刀豆	貫	三一	二五
枝豆	貫	三一	二〇
甘瓜	百個	四〇〇	三〇〇
桃	百個	一五〇	一〇〇
トマト	貫	三八	三三

無電特報

（卅一日）

本縣鰹船沖合狀況

船名　漁場　水溫　漁獲物　記事
空電のため不明

小名濱入港船

船名　縣名　魚獲高
清勝丸　本縣　二萬五千本

清新の氣に充ちたカフエー
ヤスベー
町横天辨

内科・外科（内臟外科・整形外科）
花柳病科・皮膚科
泌尿器科
小名濱町仲町
石井醫院
電話十八番

特價提供
時計　眼鏡　萬年筆
修繕確實。丁寧本位
貴金屬類は是非!!!
小名濱町本町
松原時計店

迷路（五）

多賀達夫

そんな感傷は船室に下りた時既に見る影もなく打ち砕かれたが、驛にはき出されてみて今更の様に『これは一體どうしたことか』と心中につぶやいたものである。驛の待合室には數多の浮浪者が果實の食殘りや煙草の吸殻を拾ひ合つてゐた。

一歩街に出ると、變な形の搶具を負つた、不潔極まる鮮人の群が物慾しげな表情で生氣なく動いてゐる。純白でロマンチックでさへあつた筈の彼等の衣服はなつまじつか白いだけ、汗やほこりの汚れが除計に目立つのであつた。

等ば全く途方に暮れた。就職などには初めから齒が立ちさうもなく、これはと思ふ友人を憶出して困惑を訴へる外はなかつたのである。其の結果が請負業者の人夫監督であつた、しかし言葉の不自由な人夫の中に交つて、足許が見えなくなるまで聲をからして立廻ることは考へた様な生易しいものではない。ばかりかもう駄目だと内心悲鳴をあげたことも屢々だつたが、ともかく半年、彼は齒を喰ひしばり喰ひしばり家への音信を絶やしてゐたのだ。

多少の不滿はあつたにしても家を捨てる程のことはあるまい。これ以上の心配をかけず正月は皆と一緒に迎へるやう、是非共歸宅されたい――さういふ父の手紙を受取つたのは、暮もすつと押詰つてからであつた時既に見る影もなく打ち砕かれたが、驛にはき出されてみて今更の様に『これは一體どうしたことか』と心中につぶやいたものである。驛の待合室には數多の浮浪者が果實の食殘りや煙草の吸殻を拾ひ合つてゐた。

酷い風邪を引いて十日余り寢込んでしまつた、どうにも方法がなく送金を依頼した返信なのである。

もう意地も張りもなくなつた等はまだ熱のある體で其の日の中に歸鄕の支度に取りかゝつたのであつた。

『ゆうべ、ほんとうにすみません。用事が出來たんですの。――今晩ね、今晩公園に出て下さらない、銅像のところへね――』

女なんかもう止すのだと切なくも諦めた筈の等は然し家へ歸り、床にもぐつてからも、若しやつや子が上つて來て不誠意を詫びてくれたら、などゝ熱心に考へてゐた。翌朝、と云つてもう太陽は南に近く廻つてゐた時分であるが、――眼氣味にこくりと首肯くのを覺した等は、疲れた頭でやはりそれを考へてゐた。彼はたまらなくなつた。

一とき、等は、どんな顔つきをしたらいゝものか惑つてしまつた。が、ね、と返事を促がされると、慌てゝ頭の中が急に明るんだやうであつた。

逃げた女をこんなに思ふなんて、如何にも憐で不甲斐なく、自分を叱りつけると、手拭を掴んで部屋を出た。

外は眩ゆい、眩ゆ過ぎるので等は青々と茂つた八ツ手の陰にしやがみ込んで揚枝を使ひ始めたが、齒磨粉の刺激がいつになく快かつた。

『すみません――』

いつの間にか、つや子が雜巾バケツを下げて傍に立つてゐるのだ。

『ゆうべ、ほんとうにすみません。用事が出來たんですの。――今晩ね、今晩公園に出て下さらない、銅像のところへね――』

一とき、等は、どんな顔つきをしたらいゝものか惑つてしまつた。が、ね、と返事を促がされると、慌てゝ頭の中が急に明るんだやうであつた。

何でもありやしない、昨夜はたゞやむを得ない用件が起きたゞけなのだ。等は自分とつや子との間が家の者に感づかれ、つや子は姉にでも注意されたのかも知れない、とも思つた。いつになく愁ひをこめたつや子の顔色が、ふとそんなことを思はせたのである。

しかしそんなことは何でもありはしないと再び彼は腹の中でつぶやくのであつた。それをお大層に考へて――、昨晩から懊惱の底にあがいてゐた己の姿が可笑しくさへなつた。

短歌

須田菊二

抑ふれど腹立つ心消えやらず夜更し町をあてなく行けり

大いなる惱みをひとり耐えてゆく生活になれて眞夏來にけり

なにもかもあきらめやうとおつとみる眞青き空よ雲の流るる

心絶えず君を慕へどさりげなく振舞ひ居たる我のあはれさ

ささやかな慰めなれと映畫觀るをこの生活の慰めとしき

初夏の贈物

佐山和子

苺をお贈りしました。私の作つた苺です貴男にはどんな味びがしますか

一切の想念はこの純潔な果實には無用です今ではあなたも美しい御家庭をもちです。お別れしてからの六年間――

私は鄕里に歸り、心身をきたへるために土に親しみ、やうやく快心のみのりを得たのが、この贈物です。

だれにたべていだゝいていゝものですかだあれも思ひうかばないので――

愛の空洞

須田菊二

やさしい心の泉を訪ねて私は一人かなしい旅に出た

まだ青春の流れが淺いといふのに私の旅はいんうつでさみしく

いつもはるか永遠を感じせんせんと微風吹く野原に

花と佇みとぼしく祈つてみたりした

時の流れに私は以前の私でなかつた

ますしい生のほとりに立つて

私の魂はゆくところもなく

愛の灯りのあるところ蛾の如く片々とうろつきさまよひ

そして血は既に枯れはてゝしまつた

あゝ若年の鄕愁よ

愛の空洞よ

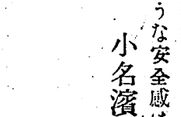
身をはかなむ私のあたりにいまみすぼらしい廢屋の朝が明けたのだ

さだめのもとに私は何時までも旅を續けやうかなしい旅を

絶望の旅を

亂れ飛ぶ

投稿歡迎



ミッキーの君子、新しい客が來ると必ず北海道の話をする。で、君は北海道の生れかなどゝ聞いだものなら早速、え、あたし札幌よとくる、そしてロマンチックな表情を音聲で鈴蘭について語り出すのだ、これなんかも一寸乙な女給の戰術であらう。（虎猫生）

みやげ話

【三】吉村生寄稿

◎臺灣の隘勇線とは何ですか

隘勇線と云ひますのは生蕃の居る所と普通行政の行はるゝ界を一劃して所々に蕃人を置く其蕃人を隘勇と稱ます。又其線を隘勇線と云ふのであります、之は生蕃人が普通人の居所へ矢鱈い所に出て來ては危險ですから番をしてをるのであります此の線には鐵線を張つて電氣を通じてありますから一寸觸つても電氣に感じて死にます。能く鹿や猫や猪が電氣に觸れて死ぬ事があります。

◎臺灣の魚盜と云ふのは何ですか

魚盜と云ふのは大きい養魚所です、臺灣の中部より南部に亘りて多くあります云ふものは水牛、鹿仔、猫先づ内地人が珍らしいと穿山甲などでせう、水牛は臺灣至る所の農家に飼ふて農耕及び牛車を引かせます體は内地の牛より大きく色は總て灰色で好んで水に入ります、水の中に二日も入らぬと死ぬと云ふ位です。それで水牛と云ふのです角は全島一萬數百町歩に及んで此産額はなか〳〵澤山であります。

◎臺灣に珍らしい動物は居りませぬか

臺灣至る所の農家に飼ふて食動物です。

猫と云ふのは内地の狸に似た獸で肉食動物ですから能く人家に來て鷄やあひる等を捕ります。

穿山甲と云ふのは鰐の様で鱗があります大きさは三尺位のトカゲの様で常に山中の土中に住んで居りまして蟻を善で食します、それがため一名蟻食と云ひます

宮守は臺灣の南部には至る所の屋内に居ります。人に害はしませぬが、一寸内外の小蛇に似てをるので氣味が惡いものです。

其外猪は澤山居ります熊豹なども少しは居りますが澤山居りませぬ、鹿は可なり居る様であります水の中には鯉、鮒、目魚、鰻カキ等を養飼します其町歩それで水牛と云ふのです角で麟があります大きさは三

暑中御伺

四倉町長 助役 新妻盛 長谷川林平

四ツ倉 信用販賣 購買利用 組合

久ノ濱漁業組合長 新妻政吉

久ノ濱消防組頭 新妻雄一

四倉町 木村藥院 院長 木村守江

◆◆◆小名濱海岸は招く◆◆◆

海水浴客の準備が整ひました、大プールに浸るような安全感は必ず皆様の御氣に召します

小名濱海岸脱衣場組合

紅林 入山自治會 小名盛屋 錦館 新米 吉田屋

遊覽お勸め

大洋の涼味はモーターボートが出來た

發着場所 四倉築港内

料金 近海（新舞子より）御一人 金弐拾錢 波立海岸 小人半額

乘船券清水屋賣店にあります

診療毎日 夜トモ

口腔外科 齒科一般

菊田齒科

植田町驛前 菊田齒科醫院

海水浴必需品 超特價提供

仙臺屋洋品店 湯本町 電話四四番

日ヤケ止御化粧品 流行型小供服 帽子 パラソル 安價提供

酒、酎燒、味噌、醬油、竹町七五

波立酒店 配達に應ず

わたしや備後の尾の道育ち 美味しい米酢の出る所 アースウ〳〵

備後の國尾の道産 米ス ハカリ賣一升 四十錢

一本二十五錢 マルマン 一本三十錢 一本五十錢

電話四八九 平町土橋

中元贈答品案内

先づ重寶な商品券	
半布一打箱入	75
タオル三本箱入	34
本年流行ベンベルグシャツ箱入	100
呂ボイルシャツ箱入	110
タオルネマキ箱	180
其他各下ネクタイワイシャツ	

婦人洋傘 均一特賣

本絹	270
二重	300
張	330
	350

にツルヤ 電一四〇

平ミナミマチ 昭和活版所 電呼一〇七番

毎度ありがたう 御座居ます 又どうぞ

平田町 松のすし モシモシは一九六番

外科内科花柳病科レントゲン科

草野醫院

小名濱町中島 電話一七三番

▼入院隨意▲

公債社債 勸業債券 復興債券 割引債券

現物、債券所持者の福音 賣買 御所持の債券御利用しながら 擔保 一等は五千圓、三千圓の債券 貸付 のくじが樂しめる 御利用金は九掛半まで

新券第十一回割引勸業債券をお勸め致します

福島縣平町字鍛冶町一八

日本商事株式會社 平支部

社員募集 希望者は履歴書持參本人來談 年齢二十三歲以上五十五歲まで 但し債券に興味の有る健實なる者

商標 味 削鰹節製造元 卸小賣 高木嘉一郎商店 小名濱町西町 電話二〇八番

耳鼻咽喉 毎週月、水、金、午后五時出診 小名濱分院 小名濱町中町小學校前

大和田耳鼻咽喉科醫院 本院平南町（電一七〇）

曳前のお知らせ

家屋其他動産の移動 少しの損傷もさせないで曳前の御依頼に應じます

御希望の方は一應御相談下さい 小名濱町榮町（築港地内）

三崎組 北村芳藏

祝造花 弔調製 山光堂 平四丁目局通り 電話五五〇番

創業以來茲に二十年皆々様の深甚なる御引立に相成り誠に有難く厚く御禮申上ます 私は創業前東京技藝校を卒へ造花の研究を致して居りますが未だ一人前の藝術家として立つ事が出來ず御滿足を與へる事が出來ません。此後皆様の御指導の下に一層研究致し度御批判の上御引立御鞭撻下さいます様切に御願ひ申上ます

店主 山田信次

■祖先崇拜は家庭榮榮の礎■

佛壇 金物佛具品 塗位碑 取揃へて有ります

◉お盆の御用意は！